



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人 幸生会
琵琶湖中央病院

病院だより

第 121 号
2021/2/15
令和 3 年

コロナ禍において

新年早々職員の新型コロナウイルス感染が発生し、多くの患者様・ご家族様、地域の医療福祉関係機関の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。これにかかります当院の対応に深いご理解とご協力、ご支援をいただきありがとうございました。院内への感染はなく、感染しました職員につきましても軽症で推移しましたことに安堵しています。今回につきましては終息いたしました。引き続き感染防止対策に努め、地域における回復期リハビリテーション機能を担う病院として、急性期医療機関と連携し地域医療を支える役割を今後もしっかりと果たしていく所存です。

新型コロナウイルス感染の増勢が止まぬ中、1月27日から全ての新規入院患者様へ「コロナウィルス抗原定性検査」を実施することといたしました。入院患者様・ご家族様、そして紹介していただく医療機関等関係各位にはご承知いただきますようお願いいたします。「抗原定性検査」につきましては確実な「安全」を担保するものではありませんが、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針第3版（2021年1月22日）」により示されました「無症状者の検査」にあります「抗原定性検査を無症状者に対する確定診断のために使用することは推奨されないが、感染拡大地域において、重症化リスクの高い者が多い医療機関や高齢者施設等で、核酸検出検査（PCR検査）等による実施が困難な場合に、幅広く抗原定性検査を実施することは感染拡大の防止の観点から有効であると考えられる。」に基づき、当院では積極的感染防止対策の一環として実施するものです。このことで、療養される皆様とご家族様、また職員が少しでも安心感を抱くことができればと思うところです。感染拡大防止への細心の注意を払いつつ全職員挙げて今日の状況に立

ち向かっています。

当院職員の新型コロナウイルス感染により、いったん停止していましたが、腰痛サポートの受け入れを2月2日より再開しております。詳しくは「腰痛サポートダイヤル」（090-2382-8432）までお問い合わせください。

管理副院長 荒堀 光信



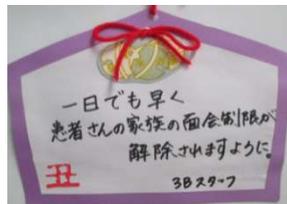
病棟からこんにちは③

2月は立春を迎え、暦の上では「春」の始まりです。本来なら心弾む季節到来ですが、今年はコロナ感染で社会情勢も変革の時。私たちに与えられた試練が運んできたものは不安ばかりではありませんでした。

今回は 3B 病棟からのご挨拶です。3B 病棟では今年の安寧を祈願して患者様とスタッフが共同で絵馬作りをしました。病棟の一角には絵馬が所狭しと飾られています。ひととき大きく



く「リハビリを頑張りたい」と書かれた患者様は絵馬を眺める私に「頑張るで！」と力強く宣言されました。その中で隅の方に遠慮がちに書かれた絵馬を見つけました。「娘が幸せでありますように」と丁寧に書かれたその言葉は一字一文字に願いがこもっている様で感慨深いものでした。自分のことでも精一杯のこのご時



世に、面会制限で外出もできない患者様が会えないご家族を思い幸せを祈る、純粋な祈りに心が洗われる様でした。

患者様には日々、学ばされます。閉鎖的な環境にありながらも前向きに、地道に、力強く生きることの大切さを教わっています。

皆様の絵馬に書かれた願いが叶うことを心からお祈り致します。 地域連携部 病院だよりチーム

つぶやき

節分は恵方巻。縁起物だと言いつつながらつい食べ過ぎてしまう悩ましい風習です。ちなみに当院の恵方巻は噛み切りにくい海苔巻きにせず薄焼き卵で高野豆腐・椎茸・でんぶ・三つ葉などを巻いた栄養科の渾身の作が提供されました。美味しそうに召し上がる患者様を凝視してしまい「食べるか？」と気を遣われてしまいました。

地域連携部

